

## 東京都初記録・稀な記録の鳥たち — 12

(写真は裏表紙に掲載)

**東京都初記録** ハワイシロハラミズナギドリ *Pterodroma sandwichensis*

観察場所：小笠原航路(東京～父島)の八丈島沖 海上

観察期間：2015年7月20日

発見者：小田谷 嘉弥氏・先崎理之氏・白川浩一氏・小澤重雄氏

観察状況：おがさわら丸で父島二見港から東京竹芝桟橋へ向かう途中の八丈島沖で、左舷側デッキにて発見しました。最も近づいた時の距離は約200mでした。

解説：ハワイシロハラミズナギドリ 1羽が記録され、日本鳥学会誌に発表されました。これは東京都初記録で、さらにその後の2015年9月23日にも聳島列島沖海上で、論文著者の一人の小澤重雄氏により記録されました。日本鳥類目録改訂第7版では本種は*P. phaeopygia*の亜種とされていますが、ここでは論文にならない、独立種として扱います。従来の日本の野外識別図鑑では、脇や腋羽が黒いことが本種の特徴とされていましたが、ハワイに分布する本種では通常それらが白く、今回の記録でもその特徴が確認されています。(詳細は日本鳥学会誌の論文を参照ください。)

裏表紙に掲載の写真は小田谷ら(2017)に使われたもので、著作権は日本鳥学会に帰属しています。

文献：小田谷嘉弥・先崎理之・白川浩一・小澤重雄 (2017) 東京都八丈島沖におけるハワイシロハラミズナギドリの観察記録. 日本鳥学会誌66: 169-173.

(野鳥記録委員 渡部良樹)

**東京都初記録** マダラシロハラミズナギドリ *Pterodroma inexpectata*

観察場所：八丈島航路の大島沖～洲崎沖 海上

観察期間：2016年4月24日 発見者：石田光史氏

観察状況：ATS社の「アホウドリに会いたい！東京～八丈島航路」ツアー中で、東海汽船「橘丸」に往復乗船しました。本種を発見した場所は帰路の大島沖から洲崎沖に入る30分程手前です。天候は小雨、海況は非常に悪く波が立ち、数十羽のオーストンウミツバメが乱舞していました。海上に着水していた本種1羽が、船首寄りの左舷下から湧き上がるように出現して、独特の上下動をしながら次第に船体から離れるように飛翔しました。観察した時間は16時09分から1分間程度でした。(石田光史)

解説：本種は1986年6月に広島県で保護された個体が日本初記録であり、東京都では今回が初記録となります。なお、2016～2017年の冬季にも小笠原航路で本種が記録されたようですが、詳細は不明です。

(野鳥記録委員 大塚 豊)

**東京都初記録・稀な記録** コクマルガラス *Corvus dauuricus*

観察場所：八王子市高月町

観察期間：2017年10月28日・10月29日・11月3日 発見者：古山 隆氏

観察状況：10月28日の9時頃、水田に降りていたハシボソガラスの群れの中に5羽のコクマルガラスを確認しました。ハシボソガラスよりだいぶ小さく見え、丸みを帯びた体型で、頭部から顔も含め全身黒色で、個体によっては頸の辺りが若干、灰色味を帯びているように見えるものもありました。虹彩は暗色、嘴は短く黒色、足も黒色でした。5羽はバラバラになることはなく、一緒に行動していました。5羽ともいわゆる「暗色型」で幼鳥と思われます。翌29日も他の観察者により確認され、11月3日にはハシボソガラスの群れに入り、飛翔する2羽を確認しました。(古山 隆)